※令和４年度以降入学生用

学校番号	413

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新編古典探究　（東京書籍）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）、プレミアムカラー国語便覧準拠ノート（数研出版）、【基礎から解釈へ】新しい古典文法　四訂新版（桐原書店）、【基礎から解釈へ】新しい古典文法　演習ノート　四訂新版（桐原書店）、基礎古文大学共通テスト対策　新装版（尚文出版）、大学入試国語頻出問題 1200　四訂新版（いいずな書店）、漢文の習得句形トレーニング（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、様々な古典の文章を読むことを通して、考える力・表現する力をつけることができます。
・古典への理解を深めるために、文語文法や古文単語を繰り返し学習し自分のものとしましょう。
・本文を丁寧に読むことやわからない単語を辞書で調べることを自主的に行いましょう。
・家庭学習における課題については、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。必ず提出期限を守りましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについて理解し、知識を身につけている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉で伝え合う力を進んで高めようとするとともに、古典に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	説話に親しむ ［教材］「小野篁、広才のこと」（宇治拾遺物語）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 b[読] ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
	随筆を読む ［教材］「九月二十日のころ」（徒然草）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・時間の経過による言葉の変化について理解する。 b[読] ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 c ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
	故事と小品 ［教材］「蛇足」	a ・漢文を訓読するための基礎知識として習得した返り点の種類と使い方を確認する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として習得した助字のはたらきと意味を確認する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読] ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 c ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト

※令和４年度以降入学生用

	作り物語を読む ［教材］「富士の山」（竹取物語）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・助動詞や敬語について、文語のきまりを理解する。 b[読] ・物語の中で和歌が果たしている役割を理解する。 ・登場人物の心情理解を中心として、物語の展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・作り物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って当時の人々の思いを捉えようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテクストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
2	史記を読む ［教材］「鴻門之会」（史記）	a ・漢文を訓読するための基礎知識として習得した返り点の種類と使い方を確認する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として習得した助字のはたらきと意味を確認する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読] 登場人物のはたらきと主張を理解し、当時の人間のありようを知る。 ・歴史書という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 c ・漢文に積極的に親しみ、学習課題に沿って当時の人々の思いを捉えようとしている。 ・名場面を脚本化するなどの活動を通して、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
	日記を読む ［教材］「門出」「物語」（更級日記）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として助動詞について文語のきまりを理解する。 b[読] 【門出】 ・本文を読み，作者の育った東国の生活について理解するとともに、作者の物語への憧れについて整理する。 ・門出にあたっての作者の心情を読み取る。 ・作品全体の冒頭部分としての意味を考え，この日記の構造と主題を理解する。 【物語】 ・本文を読み，「源氏の物語」を手に入れた経緯と，それまでの作者の気持ちをまとめる。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト

※令和４年度以降入学生用

		・「源氏の物語」を読む感動はどのように描かれているか，まとめる。 ・ここに語られる「夢」とはどういうものか理解し，それに対する作者の態度を読み取る。 c ・自伝的な日記文学を読み、執筆意図や作者の心情などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテクストを読み合わせて、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。			
	和歌の世界 ［教材］小倉百人一首の世界	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 b[読] 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、理知的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・対象の捉え方の時代による変化を理解し、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
	中国の知恵 ［教材］「塞翁馬」（淮南子）	a ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 b[読] ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト
3	随筆を読む ［教材］「ゆく川の流れ」（方丈記）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 課題の提出 小テスト

※令和４年度以降入学生用

		b[読] ・思索的な随筆を読んで、作者の提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。		課題の提出	
	軍記物語を味わう ［教材］「壇の浦の合戦」（平家物語）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・歴史的な文体の変化について理解する。 b[読] ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 c ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト
	唐詩 ［教材］「唐詩」	a ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 b[読] ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・各作品に表れた作者のものの見方、感じ方、考え方を捉えようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１０５　）時間